

令和7年10月16日

一般社団法人沖縄県美ら海教育学校

代表理事 星原 貴保



### 「未来に繋がる人材育成自然体験キッズキャンプ」事業概要

(サーフィン体験、親子焚火キャンプ、久米島海人キャンプ、やんばる山登りキャンプ)

この度当校の活動にて上記のいくつかのキャンプにおいて「日本財団 海と日本プロジェクトの助成金」、「子どもゆめ基金」を受託し、沖縄県教育委員会にご後援も頂いております。上記の事業内容詳細を明記しております。

#### ◇活動趣旨と背景

活動の趣旨としましては、「海洋自然教育を通した人作りと地域作り」を目的とした、未来に繋がる人材育成としての海洋自然教育キャンプ事業になります。

近年、世界に誇る綺麗な海があるにも関わらず、子どもたちの海遊び離れが増加しています。青少年の体験活動と自立に関する実態調査によると海に入った事がある子どもは年々減少しています。海や自然のキャンプ体験を通じて、海を楽しむための正しい知識・装備・技術を伝達指導、学習する事で体験後も普段の生活の中で安全に楽しく海や自然の中に入る機会を増やします。自然体験活動は、楽しむ心から始まり自然を大切にし、守る気持ちを育てるものです。自分達の地域の海や自然の中を見る事でサンゴや動植物など海や自然の環境がどれだけ多様性に優れた場所であるか、そしてその重要性を知る事で、開発問題やゴミやサンゴの白化などで壊れゆく海の環境について問題意識をもって学んでもらいます。体験後は自分達地域の資源の豊かさに気づいてもらい海や自然についての環境問題に対して継続的に問題意識をもってもらい、海や自然や環境について思いを巡らせるように地域の子どもたちが自分達で地域の資源を活かして守っていけるように成長してもらいたいです。この活動を通してより多様な地元の人々や子どもが、自分達地域の資源である海や自然の環境の課題や地域のあり方に関心を持つようになって頂きたいです。自然体験活動を通して世界に誇る地域資源を知る事で地元の子供達が誇りをもって生き抜く力を身につけてもらえる事が活動趣旨になります。

「社会教育」としての「海洋自然教育」により「沖縄の未来のための人作り」をさせて頂く事が弊団体の目的になります。子どもたちが自然体験活動によって、最も身に着ける事が出来るものの一つは「社会性」です。この「社会性」を身に着けて地域の子どもたちが繋がりを作っていく事で、地域の自然環境を考える事ができる人を作りだし、地域を作り出していく事の手助けをする事が目的になります。地域の人達が主役になり環境を主軸として考えた地域作りをしてもらえる人材育成が活動の本質的な趣旨となります。主体的な学びについての力（学ぶ力）が問われている時代の中で、野外教育は時代に必要な力を育成する事が出来ます。変化の多い自然体験活動の中で学べる力は適応能力になります。またそれでの問題解決能力やその問題を発見する能力になります。アウトドアを通して未来を作る力を育てる事を目的とした活動になります。水難防止教育や環境教育、野外教育、地域教育、探求学習、環境保全などの内容を網羅した人材育成事業となります。

## ◇代表情報

・弊団体の代表の活動がこの度アウトドア活動により日本の未来の為に優れた人作りをしている人や団体を表彰するものとして大賞を頂き、日本で一番優れたアウトドア指導者として認定されました。(JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2023 大賞受賞、エコツーリズム大賞環境大臣賞 18回優秀賞) これからも日本の未来に繋がる人作りを自然体験の中で行っていければと思います。「おきなわ県民カレッジ」の講師や県内外大学の講師として海の教育の大切さを伝えています。「社会教育士」として生涯教育や社会教育の視点から社会をより豊かにする機会としての自然体験での人作りを行政と企業と学校の連携をとり、取り組ませて頂いております。

## ◇活動主催：一般社団法人沖縄県美ら海教育学校

代表理事 星原貴保

◇場所：①砂辺海岸、②やんばる国立森林公園、③おうじまキャンプ場、④名護青少年の家

◇対象：①小学校4年生～中学校1,2,3年生

①小学生のいる家族10組

①小学校3年生～中学校1,2,3年生

①小学校2年生～小学校6年生

◇定員：各30名前後（＊先着順）

◇開催日時： ①1月11日 ②2月14-15日 ③3月20-22日 ④3月29-30日

◇募集期間： 募集人数集まり次第終了

（＊先着順になりますのでお早目にお声かけの程よろしくお願ひ致します）

◇参加費： 各キャンプに明記

（料金に含まれるものとして、自然体験プログラム体験代（シュノーケリング、サーフィン、トレッキング、漁体験、各プログラム事）インストラクター指導料、各プログラム体験の器材代、講話講習料、保険代、ボート代、フェリーダイアリヤー代、食事代、宿泊代、宿泊テント代、バンガロー代、野外炊飯代、キャンプファイヤー代等が全て込み）

◇内容： 野外教育、環境教育、水難防止教育、環境生態教育、環境保全教育、健康教育と様々な観点から自然体験を指導させて頂き、子どもたちの能動的な学習により子どもたちの意識や行動をポジティブに変容させてウェルビーイングを高めた健全な人材育成をする事が目的になります。

○シュノーケリング体験： 水難防止教育の観点から正しい装備と知識、泳ぎの技術を指導します。バディシステムを使いチームビルディングを形成。海洋レスキューも含めた指導により安心安全な環境づくりを学びます。またシュノーケルを手段として使い水生生物や自然現象などの観察の仕方や注意点を学びます。

○カヤック、カヌー体験： 環境把握認知教育の観点から、風、潮、流れの読み方や漕ぎ方を指導します。バディシステムによりチームワークを強化しながら、海の見え方が違う事による観察の仕方なども学習します。

○滝トレッキング＆登山体験（ハイキング）：野外教育心理の観点から身近に存在する「山」や「川」に触れる体験活動を通して、自然の雄大さや多様性を感じるとともに、自然に対する畏敬の念や地元に対する誇りを深める

指導をします。また山と川と海の繋がりを感じてもらう。その繋がりによって山や川や海では実際どのような事が起きているのかを学ぶ。山での栄養が川に流れそれが海に流れている事や山や森を切り開く事で赤土の流出問題なども考える事が出来る。多様性の大切さなども楽しみながら学ぶ事が出来る。チームワークで困難に挑んでいくチャレンジ精神やレジリエンス（適応力、復元力）を育む事が出来る。

○漁師体験：地域文化伝統教育の観点から伝統的でサステナブルな漁である刺し網、モズク漁などを体験させる事で、地域の資源を使った産業を考える事が出来る。また文化背景やサステナブルについても学ぶ事ができる。自分達で取った魚を自分達で捌き食べる事で食育にも繋がり命の大切さを知る事が出来る。

○星空観察体験：地球環境教育の観点から月や火星など他の惑星を観察させる事によって、海や自然がある惑星は地球しかないという事から、どのように海や自然が出来たのかなどを学びます。宇宙を観察して体感する事によって、何気なく見ている星や海や自然の存在の大きさを再認識するのが狙いです。月や火星など他の惑星を観察させる事によって、海がある惑星は地球しかないという事から、どのように海が出来たのかなどを学びます。宇宙を観察して体感する事によって、何気なく見ている星や海の存在の大きさを再認識するのが狙いです。

○沖縄の自然と生き物＆海の生き物講話：自然生態系教育の観点から沖縄の山と海の繋がりについて、自然の生態系について学びます。海や山の多様性やそれがいかに重要なのか、危険生物などを含め生き物の特徴や観察の仕方を指導します。生物観察のなかで自然環境問題についての現状を知り、沖縄の海や自然の環境の未来について関心を持つことができるよう取り組む内容になります。またサンゴという生き物について、またその生態系について学びます。危険生物などを含め生き物の特徴や観察の仕方を指導します。生物観察のなかで自然環境問題についての現状を知り、海の環境の未来について関心を持つことができるよう取り組む内容になります。

○安全管理とリスクマネージメント：海離れや自然体験離れの一つの原因として水難事故が多く、海や自然が危ない所だという事がある。リスクをどのように管理していくのかを、正しい知識と技術と装備、心構えなど準備をしっかりとすることで挑戦する気持ちを育てる。沖縄の資源である自然や海を管理して活かす事が出来る人材を育成する。

○野外炊飯 ○テント泊体験 ○キャンプファイヤー：仲間たちとテント設営や野外炊飯、キャンプファイヤーなどを行う事で、チームビルディングでの「生きる力」を育みます。大自然と海と空に囲まれた中で感動体験を共有する事で、何もない中で工夫をしながら何でも自分たちで不格好でも出来るように、自分の事を自分でやれる人間の生きる力を仲間たちと一緒に身につけます。たくましい「心と体」を養います。

◇スケジュール： \*チラシに明記

◇保険：  
死亡・後遺症 7,900千円  
入院日額 8,000円  
通院日額 5,000円

◇安全体制：指導員は経験豊富な指導員になります。社会教育士、救急救命指導者、自然体験指導員、シュノーケリング、ダイビングインストラクター優良資格者です。緊急対応も熟知し緊急事態フローチャートを保持し、有事の際はそれに従って連携を取りアシストしていきます。